

「町の完全復興」早期実現のため 議員一同頑張ります

益城町議会議長 稲田 忠則

新

年、明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、日頃から町議会に対しまして、深いご理解と格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

町議会では昨年、定例会および臨時会におきまして、予算、契約、条例などの議案について審議を行い、その結果、およそ130件の議案の承認を行いました。その中には、熊本地震からの復旧・復興事業および新型コロナウイルス対策に関する予算、決算、各種条例の制定・改正など、特に重要な事項が含まれており、「町の具体的政策の最終決定」と「行政運営の批判と監視」という議会の使命を果たしたものと思っております。

また、延べ34人の議員が一般質問を行い、熊本地震による復旧・復興事業の進展に伴い、非常に大きな額で推移している町の予算・決算、新型コロナウイルス感染症への対応策、その他町民の生活に直接関わる施策などへの提案を行つてまいりました。

昨年もまた、新型コロナウイルスの感染拡大により、各種事業や行事が中止、延期されるなど、多方面にわたり大きな影響を受けました。熊本県には、まん延防止等重点措置が適用され、不要不急の外出自粛などの行動制限により、私たち町民は不自由な生活が強いられました。

そのような中開催された東京2020オリンピック・パラリンピックでは、日本選手団の活躍により、たくさんの感動がもたらされました。本県関係では、(株)再春館製薬所所属の山口茜選手らバドミントン選手団、また、パラリンピック競泳の富田宇宙選手、ゴールボールの浦田理恵選手ら

私たち議会といたしましても、町との連携のもと、「町の完全復興」の早期実現に向け努力してまいります。どうか本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が町民の皆さんにとりまして、輝かしいものとなりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

本町出身で車いす女子バスケットの安尾笑選手たちの活躍に多くの県民が勇気づけられました。

町内では、県道熊本高森線の4車線化工事が急ピッチで進んでおり、沿線のいたるところで、その姿が見られるようになってきました。4車線化工事が、熊本県のご協力のもと1日も早く完成することを願うものであります。同様に県のご協力による木山地区の土地区画整理事業や、町の中心施設である役場新庁舎などの建設も順調に進んでおります。また、横町線、東西線、南北線など都市計画道路の整備も進んでおり、渋滞の緩和などの交通の利便性向上に期待するものです。

